

## プロフィール

〈6月26日 基調講演〉

- ◆ボナヴェントゥーラ・ルペルティ Bonaventura RUPERTI (ヴェネツィア、カ・フォスカリ大学 アジア・地中海アフリカ研究学科日本語日本演劇教授)

1978-83年 ヴェネツィア大学東洋学科専攻。1983年-86年 早稲田大学大学院芸術専攻演劇研究科に留学。1988-1992年 ナポリ東洋大学・ヴェネツィア大学共同の大学院東洋学博士号。2004-2005年 国文学研究資料館客員教授。2015-2016年 国際日本文化研究センター外国人研究員共同研究『日本の舞台芸術における身体 一死と生、人形と人工体』主催。専門は日本近世演劇および日本近世・近代文学。下記の通り編著書は多数。

*Jōruri, Racconto epico e musica antica dal Giappone* (浄瑠璃、ドラマと叙事詩と音楽), Istituto Giapponese di Cultura, Roma, 2006 (伊語)

*Storia del teatro giapponese. Dalle origini all'Ottocento* (日本演劇史一起源から19世紀まで), vol. 1, Venezia, Marsilio, 2015 (伊語)

*Storia del teatro giapponese. Dalle origini all'Ottocento* (日本演劇史—19世紀から2000年まで), vol. 2, Venezia, Marsilio, 2016 (伊語)

“Greek tragedies in/and the Productions of Ninagawa Yukio,” Japanese Theatre Transcultural: German and Italian Interwinings, Iudicium, 2011, pp.138-156. (英語)

『日本の舞台芸術における身体 一死と生、人形と人工体』(責任編集)、晃洋書房、2019

2017年6月29日 外務大臣表彰。2020年4月29日 旭日中綬章。

〈6月27日 対談〉

- ◆平田大一 (南島詩人・演出家・沖縄文化芸術振興アドバイザー)

1968年沖縄出身。1987年ユニークな朗読スタイル「南島詩人」でデビュー、2000年「現代版組踊 肝高の阿麻和利」を手掛け演出家として注目を集める。2001年「きむたかホール館長」、2005年「那覇市芸術監督」、2011年「沖縄県文化観光スポーツ部長」を歴任、2013年から「(公財)沖縄県文化振興会」理事長就任、退任後フリーランスの「沖縄文化芸術振興アドバイザー」に。現在は県内外の文化行政の施策や地域団体に関するプロデュース・アドバイザー業務をはじめ、文化に軸足を置いた新たな地域活性化のモデルづくりのトップランナーとして活躍。内閣府沖縄振興審議会(5期目)、県立沖縄芸術大学芸術振興財団評議員、現代版組踊推進協議会会長など役職多数。52歳。

- ◆平田オリザ (劇作家・演出家・兵庫県立芸術文化観光専門職大学学長・こまばアゴラ劇場芸術総監督)

1962年東京生まれ。国際基督教大学在学中に劇団青年団を結成。

1995年『東京ノート』で岸田國士戯曲賞を受賞。2003年『その河をこえて、五月』(2002年日韓国民交流記念事業)で、第2回朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。2006年モンブラン国際文化賞受賞。2011年フランス文化通信省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。2019年『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞受賞。

2019年9月より兵庫県豊岡市に在住。